

5つの祭りを統合

魅力が
パワーアップ!!
あさひフェスタ

尾張旭市
あさひ健康
マイスター
対象事業

10/31(土)、愛知県森林公園を舞台に開催するあさひフェスタ。これまで親しまれてきた5つの祭りが一つとなり、新しい祭りとして生まれ変わります。受け継がれてきた祭りに込めた思いを未来へつなぐ、これからの祭りの第一歩。今回は、祭りの楽しみ方と会場となる森林公園の魅力に迫ります。

問 あさひフェスタ実行委員会(産業課内) ☎76-8137

ID 20055

あさひ健康フェスタ



あさひ夏フェスタ



思いを受け継ぎ
新たな一歩へ

農業まつり



市民消防ひろば



市民祭



統合した経緯

これまで本市では、「あさひ健康フェスタ」「あさひ夏フェスタ」「市民祭」「市民消防ひろば」「農業まつり」の5つの祭りが、特色を生かして開催されてきました。しかし、会場の安全確保をはじめ、これらの祭りを続けていくための解決すべき課題も現れてきました。そこで、安全安心な祭りになるとともに、市内外から多くのかたに来ていただける、より楽しい祭りを目指して、愛知県森林公園に会場を移し、一つの祭りに統合することになりました。それぞれの祭りの魅力を受け継ぎながら、新たな一歩を踏み出します。

VOICE 1

産業課
古田さん

市内外のかたを問わず、誰もが楽しめるイベントとなるよう準備しています。森林公園の自然とともに、魅力あふれるあさひフェスタをたっぷりと満喫してください。

オリーブの苗木配布

10:00から(芝生西エリア)
150人(先着)

みんなでつむぐ、尾張旭が集まる日

あさひフェスタ ASAHI FESTA 2026

＼楽しみ方は無限大！／

食べる、見る、遊ぶ、そして、のんびり過ごす。あさひフェスタには、思い思いの時間を過ごせる魅力がぎゅっと詰まっています。4つの楽しみ方をヒントに、あなたならではのあさひフェスタを満喫しましょう。

食べる



- 50以上のキッチンカー・飲食ブースが大集結
- 焼きそば、たこ焼きなどのお祭りグルメはもちろん、お寿司、タコス、ザンギなど、多彩なグルメをラインナップ
- 「おいしい紅茶のまち」ならではのブースも要チェック

見る



- メインステージでの吹奏楽などのさまざまな音楽、着ぐるみショー
- 芝生ステージでの棒の手や和太鼓演奏など
- 白バイや消防車などのはたらく車の展示

遊ぶ



- かわいい動物とのふれあい
- 白熱のグランパスサッカーパーク、気軽に参加できるワークショップ
- お祭り定番の縁日遊びやスタンプラリーなど

のんびり過ごす



- 森林公園の自然や季節を感じながら、ブースをゆったり散策
- 地元の農産物、季節の花苗などを購入
- 健康チェックができるブースで、自分の体を知るきっかけに

モデルプラン紹介

10:00

無料シャトルバスで会場へ！
オープニングセレモニーを見て、もち投げで盛り上がる。今日は遊びもグルメも、できるだけ満喫したい

11:30

ハロウィンの仮装をしてきたので、忘れずに本部で抽選券GET!



12:00

何から食べるか迷うけど、最初はお祭りグルメから。あとで食べるデザートチェックも欠かさずに!



13:30

木陰で休みながら、撮った写真を整理。次のブースに行く前に、少し遠回りして森林公園を散策してみようかな

15:00

気になるブースを巡ったら、ふるさと大使のTOMO (DA PUMP)さんと岡野兄弟のコラボステージへ。残り少ない祭りの時間もみんなで盛り上がりよう♪



イベント盛りだくさんのあさひフェスタ。気になる詳細は、折り込みチラシで。記念すべき第1回目のあさひフェスタをぜひ会場で。新たな祭りの魅力を感じてください。

＼ 知ればもっと好きになる ＼ 愛知県森林公園

森林公園
ホームページ▶



あさひフェスタの会場となる愛知県森林公園。日本初の「森林公園」として誕生した歴史や園内の見どころなど、その魅力を紹介します。

はげ山から日本初の森林公園へ 森林公園ができるまで

現在、森林公園になっている森は、かつて松が少し生えるだけのはげ山でした。雨が降るたびに田んぼや畑へ土が流れ込んでいたため、明治44年(1911年)から植林が始まりました。その結果、森林が育ち、土砂の流出も少なくなりました。

大正12年(1923年)、高瀬五助^{たかせごすけ}氏が愛知県の林務課長に就任しました。高瀬氏は、この地域の森林を生かした人々の憩いの場となる公園づくりを構想します。当時、愛知県には「公園」と呼べる場所はまだ少なく、その構想は画期的なものでした。

昭和6年(1931年)には、公園化に向けた整備が始まり、花を楽しめる樹木も植えられました。現在も園内に残るオオシマザクラやヤマザクラ、ヤマモモなどは、この頃に植えられたものです。

そして昭和9年(1934年)、日本初の「森林公園」となることが決定しました。



高瀬五助像

さまざまなイベントの舞台に

令和元年6月には、第70回全国植樹祭の会場として、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、県内外から約1万人のかたが森林公園を訪れました。現在も毎年、市民ジョギング大会が行われるなど、多くの人に親しまれています。



第70回全国植樹祭



市民ジョギング大会

数字で見る森林公園

利用者数(令和6年度)

総数	約110万人
一般公園	約85万人
植物園	約7万人
運動施設	約6万人
ゴルフ場	約12万人

敷地面積 約466ha(東京ドーム約100個分・市の面積の6分の1を占める)

「森林浴の森日本100選」に選出



植物園エリア

入園料 220円(中学生以下無料)

広大な芝生広場やテーマごとに特色ある森、水鳥が集う池、展示施設など、見どころが多彩。貴重な動植物を観察しながら、自然の中で思い思いの時間をゆったり過ごせます。

① 広芝生



② ふるさとの森



このほかにも野球場やテニスコート、多数の遊具が設置されている児童遊園地なども!

③ バーベキュー場



④ ボート池



⑤ 乗馬施設



⑥ 森のカフェ



担々麺

名物の担々麺は、ごまの風味にラー油の辛さがアクセント。まろやかな味わいで、辛いものが苦手な方にもおすすめの一品!

VOICE 2



森林公園職員
浅野さん

令和6年4月に乳児専用エリアや授乳室、おむつ替えスペースなどを新設して、リニューアルオープンしました。空調設備も新設したことで、これまで利用の少なかった夏や冬も含め、1年を通して多くのかたにご利用いただけるようになりました。雨の日にも安心して遊べますので、木の温もりを感じられる、こどもの家にぜひ遊びに来てください。

⑦ こどもの家

